



Webアプリケーション 品質保証レポート

開発チームと顧客向け

テストの範囲と方法



機能テスト

- アプリの全機能が正しく動作するか確認
- ユーザー操作を再現して予測通りの結果を検証
- ログイン、データ入力、画面遷移などを検証



パフォーマンステスト

- システムの応答速度と安定性を評価
- 多数のユーザーが同時アクセスした場合の動作を検証
- 表示速度、処理時間、リソース使用率を測定



セキュリティテスト

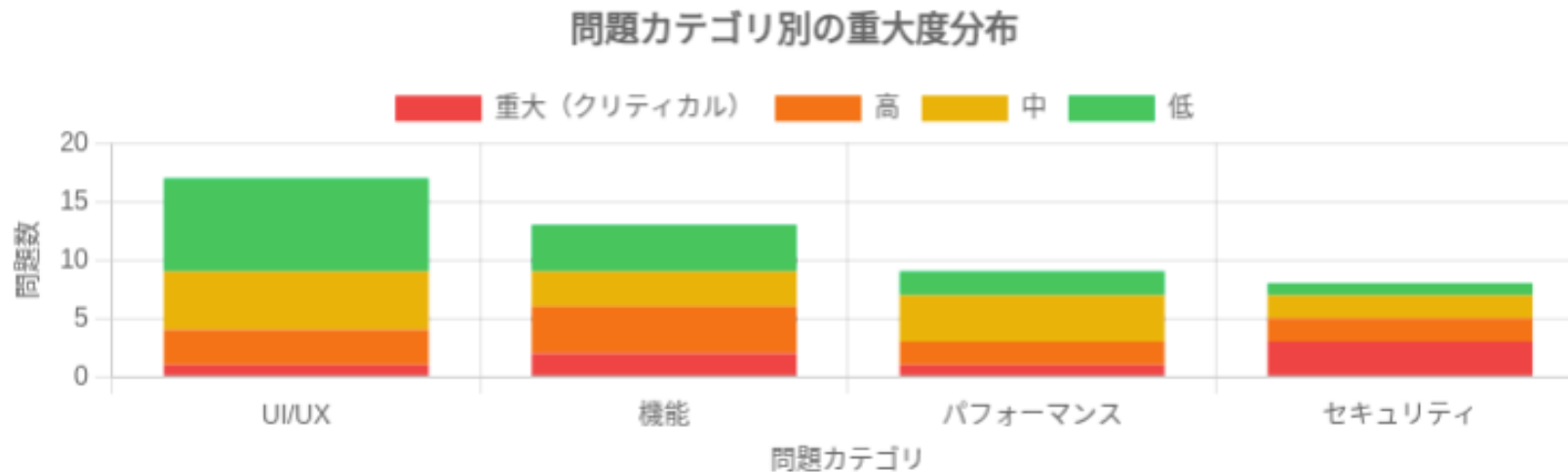
- データ保護とプライバシーの確認
- 不正アクセスやデータ漏洩に対する防御を検証
- 入力値の検証や認証プロセスの安全性をチェック



ユーザビリティテスト

- 実際のユーザーによる使いやすさの評価
- 操作の直感性や学習のしやすさを確認
- 画面デザインや操作フローの改善点を発見

見つけた主要な問題のカテゴリと重大度



■ 重大: システム全体に影響 ■ 高: 一部機能が使用不可 ■ 中: 機能低下 ■ 低: 軽微な問題



UI/UX

レイアウト崩れ、使いにくいナビゲーション、視認性の問題など



機能

動作しないボタン、正しく処理されないデータ、予期しない動作など



パフォーマンス

読み込み遅延、応答速度低下、リソース使用量過多など



セキュリティ

不正アクセスの可能性、データ漏洩リスク、入力検証の不備など

解決済み/未解決の問題数

42

解決済み問題

18

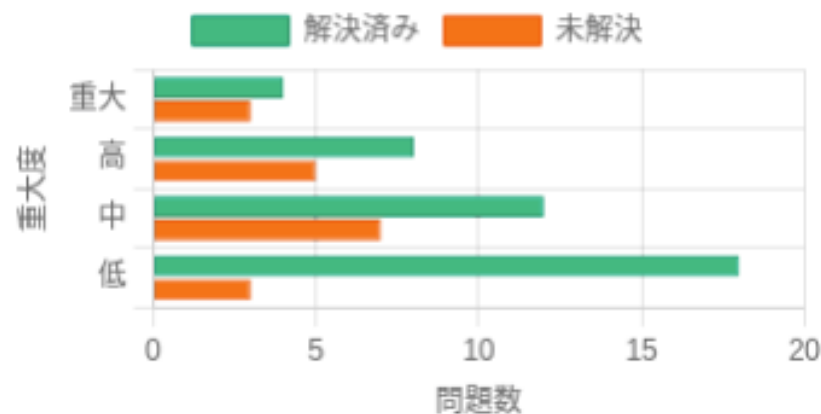
未解決問題

70%

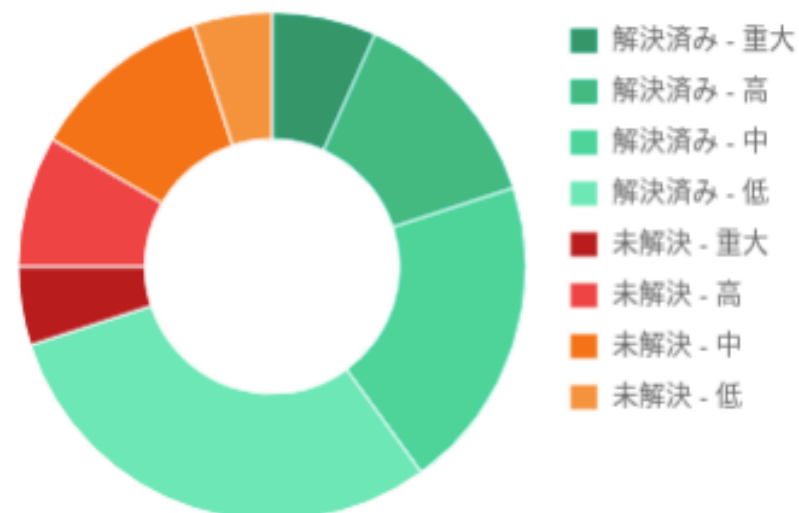
全体解決率



重大度別の解決状況



全体の進捗状況

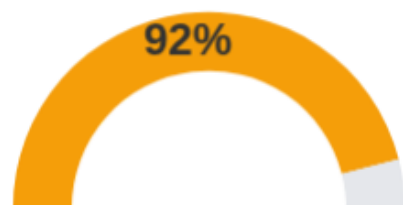


品質メトリクス（カバレッジ、パフォーマンス）

テストカバレッジ

機能カバレッジ

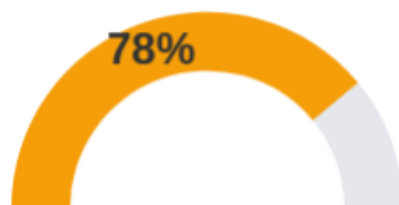
全機能のテスト実施率



● 目標: 95%

コードカバレッジ

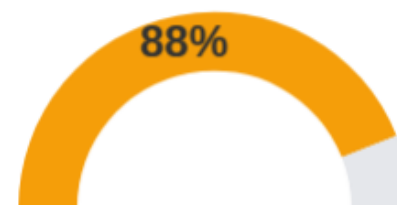
テストされたコード行数の割合



● 目標: 85%

UI要素カバレッジ

検証されたUI要素の割合

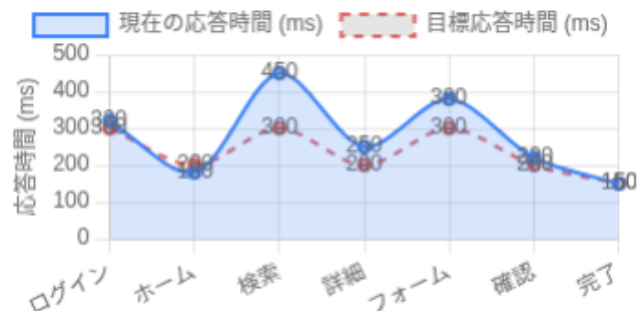


● 目標: 90%

パフォーマンスメトリクス

応答時間

ユーザー操作から結果表示までの時間



エラー率とスループット

実行失敗の割合と単位時間あたりの処理数



次期リリースに向けた推奨事項

■ 最優先 ■ 高優先 ■ 中優先 ■ 低優先

🛡️ セキュリティ脆弱性の修正

ログイン認証プロセスの強化と個人情報保護のためのデータ暗号化実装

最優先

大きな影響

即時対応

⚙️ 検索機能のパフォーマンス最適化

応答時間の短縮とサーバー負荷の軽減のためのクエリ処理とキャッシュ機能の改善

高優先

中程度の影響

1週間以内

📱 モバイル表示の最適化

スマートフォンとタブレットでの表示レイアウト調整と操作性の改善

中優先

ユーザー満足度向上

2週間以内

🔧 データ保存機能の不具合修正

特定条件下でのデータ保存失敗問題の解決とエラーハンドリング改善

高優先

データ完全性確保

3日以内

♿️ アクセシビリティ基準への準拠

スクリーンリーダー対応とキーボード操作性の向上によるWCAG準拠

中優先

ユーザー層拡大

1ヶ月以内

🔗 テスト自動化の拡充

回帰テストの自動化範囲拡大と継続的インテグレーションへの組み込み

低優先

品質保証強化

次期開発サイクル

まとめ

テスト結果の概要

- 4種類のテスト（機能、パフォーマンス、セキュリティ、ユーザビリティ）を実施
- 全体で70%の問題が解決済み（42件解決/18件未解決）
- コードカバレッジは78%、機能力カバレッジは92%を達成

重要な課題と対策

- セキュリティ脆弱性：認証プロセスの強化とデータ暗号化の実装
- パフォーマンス問題：検索機能の最適化とレスポンス時間の短縮
- UI/UX課題：モバイル表示の改善とアクセシビリティ対応

次のステップ

- 最優先事項から順に修正を開始（セキュリティ→機能バグ→UI/UX）
- 本番環境への展開前に最終検証テストを実施
- 継続的な品質モニタリングとフィードバック収集の仕組みを構築

 ご質問・ご意見をお願いいたします

